

第9回レポート

全二重回線を用いて二つの局がHDLCの**正規応答モード**を用いて通信を行います。
データリンクが確立された後、**1次局が2次局に対して4つのフレーム**からなるデータを送信しましたが、2番目のフレームに誤りが発生したため、再送が行われました。
そして、それらを正しく受信した後に、**2次局から1次局に1つのフレーム**を送信し、その後、1次局からの要求で通信を終了しました。

ここで、送信シーケンス番号は0から始まるものとし、各フレームを、必要に応じて、

- ・ コマンド／レスポンスの略称(送信シーケンス番号, 受信シーケンス番号), P/Fビット
- ・ コマンド／レスポンスの略称(受信シーケンス番号), P/Fビット
- ・ コマンド／レスポンスの略称, P/Fビット

のいずれかの形で表記するものとします。PビットもFビットも設定されていない場合には、Nを記入します。この時以下の問(1)(2)に解答してください。

(1) 図の空欄(ア)～(サ)になっているフレームに対して、適切な値を解答一覧から一つ選んでください。

注意) REJ(N)はN番目のフレーム以降のgo-back-N再送要求を表します

(2) 2次局のREJ(2),FがSREJ(2),F(N番目のフレームの選択的再送要求)だった場合、やりとりがどう変わるかを具体的に示してください。

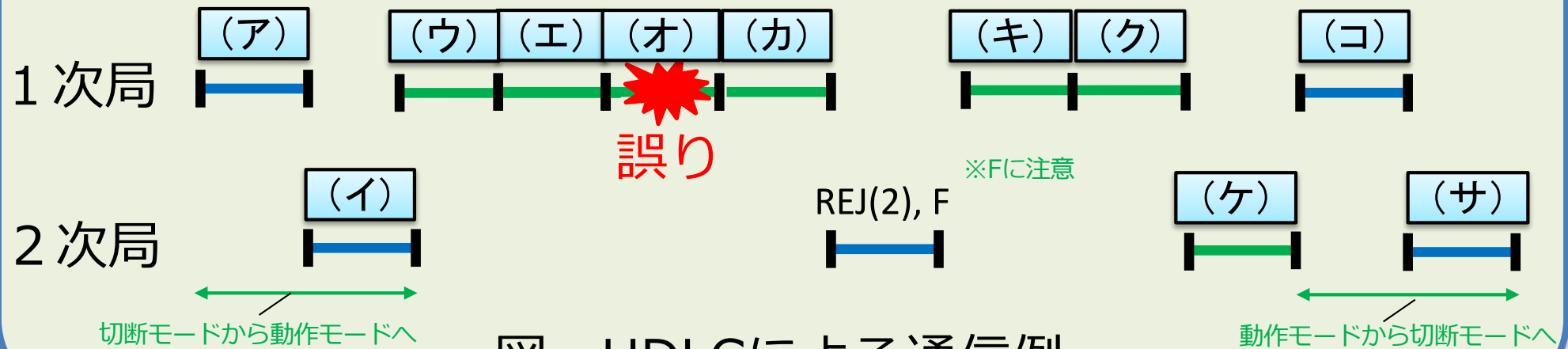


図 HDLCによる通信例

解答一覧

SABM, N SABM, P SARM, N SARM, P SNRM, N SNRM, P
 I(0,0),N I(1,0),N I(2,0),N I(2,1),N I(0,1),N I(0,2),N I(0,3),N
 I(0,0),P I(1,0),P I(2,0),P I(2,1),P I(0,1),P I(0,2),P I(0,3),P
 I(0,0),F I(1,0),F I(2,0),F I(2,1),F I(0,1),F I(0,2),F I(0,3),F
 I(3,0),P I(3,0),F I(3,0),N I(3,1),P I(3,1),F I(3,1),N
 I(0,4),P I(0,4),F I(0,4),N I(1,4),P I(1,4),F I(1,4),N
 UA, N UA, P UA, F DISC, N DISC, P DISC, F

第9回レポート

感想・意見などがあれば自由に書いてください。

6月21日（土）12時までに、
PDFファイルにしてMoodleで提出してください